

事業名	校区・集落支援事務
-----	-----------

総事業費	67,056 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	地域力の向上
	基本事業名	地域との協働の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	住民と行政が協働の上、地域の創意工夫を活かした地域づくりを推進するとともに、市政の円滑な運営を図っていく。	
事業の実績 と 成果	取組内容	校区行政連絡員・行政連絡員への謝金の支払い、地域維持活性化交付金、課題チャレンジ交付金、区長会補助金、自治会再編補助金、地域コミュニティ再生支援事業補助金の支給。
	成 果	地域維持活性化交付金については、全校区・全集落に交付し、地域の実情に応じた活用により、地域の維持活性化が図られた。 地域課題チャレンジ交付金については、各自治会の創意により14か所で実施し、コミュニティ基盤整備等課題解決を図った。 区長会を定期的に開催することにより、情報共有など適切に連携が図られた一方、地域と市長の語る会はコロナ禍で開催を見合わせた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	過疎及び少子高齢化の進行により、自治会の収入（自治会費）が減少や担い手不足により、自治会活動の維持が困難な地域が顕在化してきている。各種助成金の活用と併せ、自治会再編の議論を本格化させる必要性を感じている。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	集落機能の持続・維持の観点で補助金を見直し、役員の担い手確保の観点から報酬を見直した。また、地域を支える仕組み自体の見直しも必要であり、地域と行政の双方向の取り組みに民間企業のサポートを組み込むことなど、新たな枠組み・制度構築を進めた。 今後は、さらに過疎化・高齢化が進むことで、様々な課題が発生するであろうことから、行政だけでサポートするのではなく、多様な主体と連携したうえで地域づくりを進める必要がある。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	地域維持活性化交付金・地域課題チャレンジ交付金は、例年通り実施していく。 各地域が抱えている各種課題に対しては、区長会・地域おこし協力隊・集落支援員・民間企業等多様な主体との連携を意識して取り組んでいく。 校区ごとに自分たちの校区の現状把握（課題や資源）と併せて、将来（概ね10年後）の目指す姿を明確にするため、ワークショップを開催し、校区民自ら考えだしたハード・ソフト両面から取組を見える化する。また、地域資源を活用した商品造成を形成する。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	地域おこし協力隊パートナー事業
-----	-----------------

総事業費	4,752 千円
------	---------------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	地域力の向上
	基本事業名	地域との協働の推進

② 実施 (Do)

事業の意図			テーマ、ミッション等の内容に特化した市域全体を対象とした協力隊を採用し、特技を活かした活動をしてもらい、市に還元する。3年間の活動を通して、将来的には定住に繋げていく。
事業の実績 と 成果	取組内容	令和1年度より一部校区を除き、校区配置は集落支援員、市全域を地域おこし協力隊という体制にシフトした。支援員からの課題情報収集や収集された情報を活かし、協力隊が様々な機関と連携し活動できるようにした。 また、令和2年度中に退任した協力隊1人の定住に繋がった。	
	成 果	それぞれの地域おこし協力隊の任期中の活動を支援しながら、任期終了後、起業や本市への定住に繋がるよう支援する必要がある。	

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	それぞれの地域おこし協力隊の任期中の活動を支援しながら、任期終了後、起業や本市への定住に繋がるよう支援する必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	協力隊個々の知識・技術を生かし、市民と話し合いながら、できることから取り組みを進めている。 過疎支援としての協力隊は集落支援員へと移行している。また、市全体をフィールドとした協力隊の取り組みを推進するために企業のサポート等整備している。地域課題が複雑化・多様化している中、市民、集落支援員、企業等と連携した地域課題の解決に取り組む必要がある。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	協力隊同士の連携、協力隊と支援員の連携、協力隊と地域の連携、協力隊と企業の連携などを意図的に進め、地域課題の解決に繋げるとともに、協力隊本人の目標を達成し、本市への定住につながるよう支援する。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	集落体制推進事業
-----	----------

総事業費	4,981 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	地域力の向上
	基本事業名	地域との協働の推進

② 実施 (Do)

事業の意図		集落の実情に応じた集落の維持・活性化に向けた取り組みを推進する。
事業の実績 と 成果	取組内容	校区事情に精通した者を集落支援員とすることで、スムーズな校区活動サポートが可能となる。また、集落支援員同士及び地域おこし協力隊との情報交換も盛んに行う体制が構築されつつあり、各校区の運営サポートに期待が出来る。
	成 果	集落支援員を核として、それぞれの校区で新しい取り組みが始まっている。それらの活動を継続させるには、地域でのサポート人材が一人でも多く存在する必要がある。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	集落支援員を核として、それぞれの校区で新しい取り組みが始まっている。それらの活動を継続させるには、地域でのサポート人材が一人でも多く存在する必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	地域に精通した視点で地域サポートを行っている。 今後は、校区と集落支援員が相互連携し地域課題解決に向け取り組みを進めてほしい。このことを補完する仕組みとしての全体サポート役の地域おこし協力隊との連携、民間企業との連携を強化し、彼らの持つ知識・スキルを活用することで、よりニーズに適した校区サポート体制を形成していくことが必要。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	各校区の実情に応じた活動を展開する。 校区長をはじめとする地域住民との意思疎通、地域おこし協力隊や民間企業との連携も図る。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	小さな拠点づくり事業
-----	------------

総事業費	7,502 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	地域力の向上
	基本事業名	地域との協働の推進

② 実施 (Do)

事業の意図		交流拠点を活用し、地域活動・交流事業を行いながらコミュニティ組織を維持し、持続可能な地域づくりを目指す。
事業の実績 と 成果	取組内容	コロナ禍の影響で修学旅行の受入れや食農セミナーなどの交流事業が思うように実施できず、また、宿泊者数も減少した。 島外民間企業が特別教室棟を活用して、自社の事業展開及び地域貢献に向けた今後の展開の方向性を定めることができた。
	成 果	島外民間企業の従業員が中割校区と親交を深めるためには、校区内に居住していただいて普段から交流を図ることが肝要であるが、校区内に従業員の住宅として活用できる物件が少ない。また、現在、施設の運用管理を中割校区に委託しているが、住民の中からも校区だけでは維持が困難であるとの意見も聞かれる。特別教室棟を活用することとなった島外民間企業を受け皿と想定し、指定管理者制度への移行を検討する必要がある。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	島外民間企業の従業員が中割校区と親交を深めるためには、校区内に居住していただいて普段から交流を図ることが肝要であるが、校区内に従業員の住宅として活用できる物件が少ない。また、現在、施設の運用管理を中割校区に委託しているが、住民の中からも校区だけでは維持が困難であるとの意見も聞かれる。特別教室棟を活用することとなった島外民間企業を受け皿と想定し、指定管理者制度への移行を検討する必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	農業体験メニューなど。地域が主体となり継続的に実績を上げている。 継続していくためには地域にお金落ちる仕組みが必要であり、このことを補完する仕組みとして民間企業とのタイアップ事業を推進する方法があるので取り組みを強化する。また、起爆剤としての企画も必要。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	民間企業との連携を強化し、西之表市のモデル地区となるよう拠点を整備する。
-----------	--------------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	コミュニティ助成事業
-----	------------

総事業費	2,400 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	地域力の向上
	基本事業名	地域との協働の推進

② 実施 (Do)

事業の意図		備品等を整備することで、自治会活動を活発にしたい。
事業の実績 と 成果	取組内容	備品を整備することで、自治会活動が快適に行われるようになった。
	成 果	毎年度作業手順は一緒なのだが、申請件数に対する採択件数に制限があるため、優先順位付けが必要である。 宝くじの広報掲示について、シビアな事業なので、自治会に申請段階から広報掲示のあり方について、徹底して周知する必要がある。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	毎年度作業手順は一緒なのだが、申請件数に対する採択件数に制限があるため、優先順位付けが必要である。 宝くじの広報掲示について、シビアな事業なので、自治会に申請段階から広報掲示のあり方について、徹底して周知する必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	鹿児島県において採択される事業であり1件の実績。地域からの申請をサポートし多くの事業採択を目指すことで地域課題解決に繋げることができるよう取り組んでいく。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	毎年度同様であるが、事業の流れに沿って適正に事務処理をする。
-----------	--------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明